



恵那市



大正百年への誘い

恵那市長 可知義明

当恵那市は、岐阜県の東南部に位置し、東は長野県、南は愛知県に隣接し、人口5万5000人、面積504.19平方キロで、市の全体の77%が森林で自然豊かな中山間地域であります。

本年（2011年）は大正元年から数えて百年目の記念すべき年であります。

1912年7月30日 元号は明治から大正となり、昭和との間に小さな大正時代が生まれました。

明治・昭和に比べて短い期間ではありましたが、世に大正デモクラシーと呼ばれる民主主義が台頭し、民衆と女性の地位が向上し、新しい文芸・絵画・音楽・演劇などの大衆文化が花開き、大正ロマンを生むという政治・文化の面で特筆すべき時代であるばかりでなく、この期間に発足した数多くの企業が活発な発展を遂げて、日本を代表する企業として世界の経済大国と称されるに至った我が国の経済をしっかりと支える土台となっております。

恵那市明智町は、今なお大正時代の街並みの面影を深く存する地区として知られておりますが、大正時代の意義を長く後世に伝える目的をもって、1988年（昭和63年）財団法人日本大正村が発足し現在に至っております。

大正村が「大正」の名を冠する縁で、恵那市に大正百年事業実行委員会を立ち上げ、大正百年を嘉し、これを記念するイベントを本年開催しております。

明治は大正の人が、大正は昭和・平成の人が温故知新、日本全体で振り返り、そして子や孫の世代へ何か役立つ“大正”を引き継いで行くことが今に生きる私たちの役割と考えます。

ぜひとも、大正ロマンが残る恵那市へ足をお運びください。